

平成23年度当初予算 決めました。



◇一般会計 総額 227億3,500万円 全員一致 可決
一般会計歳出予算の内訳

議会費	2億 696万円	土木費	14億 5,217万円
総務費	24億 9,378万円	消防費	6億 7,163万円
民生費	56億 7,843万円	教育費	24億 6,862万円
衛生費	39億 4,624万円	災害復旧費	330万円
農林水産業費	21億 7,632万円	公債費	31億 8,368万円
商工費	4億 799万円	その他	4,588万円

全国離島交流ゲートボール親善大会 (総務費)

開催委託事業費 2,200 万円



練習は欠かさず、真剣プレーばい!! (石田コート)

たかのはら憩いの森公園 (衛生費)

改修事業費 3,050 万円



草スキー場や遊具などが整備されます。

有害鳥獣被害防止対策 (農林水産業費)

イノシシ・カラス・シカ捕獲 1,248 万円



シカが生息する若宮島 (勝本町)

福岡事務所開設 (商工費)

観光物産情報発信事業費 1,152 万円



ベイサイドプレイス博多切符売り場横に開設

中学校OA機器清算金

中学校統廃合による中途解約金 2,900 万円
契約方法等が不透明なため条件付きとした。



中学校パソコン教室

中学校スクールバス・ボート (教育費)

運行業務委託費 5,600 万円



スクールバスの安全祈願 (3/26)



ほくたちの未来をよろしく!

◆国民健康保険特別会計

総額 46 億 7,686 万円 全員一致 可決

国民健康保険は、加入者が納める保険料(税)や国の補助金によって市が運営している。

加入者(被保険者)は通常医療費の3割を負担し、残りを市が負担している。

国保でホッ!

◆後期高齢者医療特別会計

総額 2 億 9,421 万円 全員一致 可決

75歳以上の方全員と65歳以上の障害のある方が対象で、県後期高齢者医療広域連合で運営されており、病院窓口での負担は通常1割です。

◆介護保険特別会計

総額 29 億 620 万円 全員一致 可決

40歳以上の国民が納める保険料によって運営され介護認定された高齢者等がサービスや支援を受けられる保険制度で、訪問介護、通所介護サービス、住宅改修、福祉用具の貸与などが受けられる。

◆簡易水道特別会計

総額 9 億 2,087 万円 全員一致 可決

簡易水道は、計画給水人口が101人以上5,000人までの水道であり、23年度は国庫補助による基幹改良事業で湯本浦地区と石田地区の配水管布設等を計画している。

◆下水道特別会計

総額 4 億 1,965 万円 全員一致 可決

公共下水道は郷ノ浦町武生水地区の一部を処理区とした都市計画事業で、芦辺町の恵美須・瀬戸・芦辺地区及び石田町山崎地区が漁業集落排水整備区域、その他の地区が合併処理浄化槽の設置区域である。

◆特養老人ホーム特別会計

総額 15 億 7,782 万円 全員一致 可決

介護保険制度で「要介護」の認定を受けた方が入所できる老人保健施設で、施設の老朽化に加え入所待機者が多いことから、移転新築をするための施設整備費が盛り込まれている。

◆三島航路特別会計

総額 1 億 2,374 万円 全員一致 可決

大島・長島・原島の3島と郷ノ浦を結ぶフェリーみしまの運行業務で、三島地区住民の生活の基盤で、国県の補助金5,600万円等で運行されている。

◆農業機械銀行特別会計

総額 1 億 2,306 万円 全員一致 可決

農作業の合理化と農地の基盤整備のため、農業経営の安定と生産性の向上を目的とした事業であり農地の耕起、代かき、飼料作物の収穫作業などに活躍している。

◆病院事業会計

全員一致 可決

市民病院とかたばる病院の運営をしている。どちらも医師確保等の問題を抱えているが、地域医療には欠かせないものである。

◆水道事業会計

全員一致 可決

一般的に上水道と呼ばれる水道事業は、計画給水人口が5,001人以上の水道施設であり、独立採算方式で運用される企業会計で、該当地域は、郷ノ浦町の武生水・渡良・坪・田中触の一部である。